

香川県歯科衛生士会研修会 5/15(日)

「地域で患者・家族の思いに 寄り添った口腔ケアをめざして」



宇摩歯科医師会在宅歯科医療連携室
オーラルケアサポート
歯科衛生士 福田 泉

本日の内容

- 診療所勤務歯科衛生士の訪問口腔ケア実習の取り組みについて
- 口腔ケアのポイントについて
- 口腔機能管理について
- コロナ禍での患者・家族との関わり
- 地域ケア会議の参加について
- 今後の課題

通院できなくなった患者・家族の思いは

歯科医院に来院してくれている患者さんは将来ほぼ通院不可能になると考えられる

歯科医院で歯科衛生士が長く口腔管理を行っていた患者も来院できなくなる時が来る

今までは患者さんが通院不可能になればその時点で口腔管理が途切れてしまっていた

これからは、患者さんの家に行ってあげる番である

いつもの歯科衛生士さんに

ケアして欲しいと言う願い

社会のニーズに応える

従来の外来患者中心の
「歯科医院完結型」



「地域完結型」へと変化

- 診療室に通えなくなった患者さんをどうするか
- 人生の最後まで口腔の管理が出来る歯科衛生士を地域で増やす

口腔ケアが
ちゃんとできて
いますか？

どこにいても
口腔健康管理
ができる関わり

口腔ケアが継続できていま
すか？
歯科治療が必要なときには
どうしていますか？



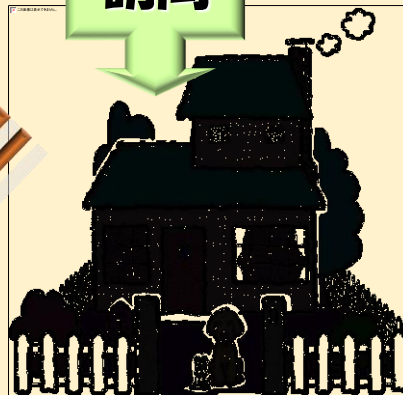
急性期病院

連携



かかりつけ歯科医

訪問



在宅・施設

訪問



回復期の病院

義歯がいつの間
になくなってい
ませんか？

口腔内の情報は
ちゃんと伝わっ
ていますか？

口腔ケアの情報
はちゃんと伝わ
ってますか？

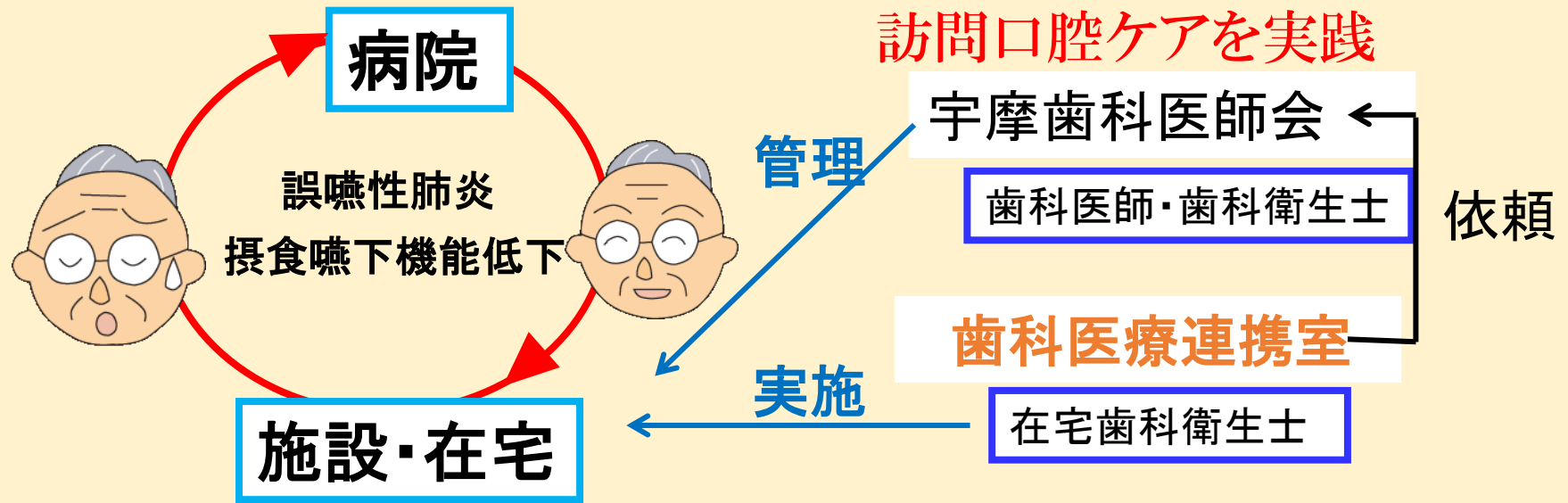
患者さんの為の多職種連携

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築する

助け合える仲間づくりが
欠かせない

誤嚥性肺炎の対応 → 在宅歯科医療連携室の設立

嚥下障害は脳血管疾患の後、起こることが多く、入院中にその対応は実施される。軽快し退院となった場合、施設・在宅で口腔健康管理がおろそかになるため、誤嚥性肺炎が再発、難治性になる場合が多い。



退院後の口腔健康管理を
宇摩歯科医師会が担当す
る。

歯科医療連携室の業務として、
訪問口腔ケアに携わる歯科衛
生士を育成することが重要

在宅歯科医療連携室 オーラルケアサポートの取組み

- 施設・病院での職員への口腔ケア指導、勉強会
- 医療・介護等関連職種との連携
- 訪問歯科診療希望者、一般市民の相談窓口
- 訪問口腔ケアの実施
- 地域包括支援センターとの連携
- 診療所勤務歯科衛生士の訪問口腔ケア指導**
- 地域ケア会議への参加
- 地域住民への普及啓発活動
 - 幼稚園、小学校、中学校での指導
 - いきいきサロンでの指導
 - 企業での勉強会など



今まで通院していた歯科医院の先生や歯科衛生士に診てもらいたい

訪問先でどのようなことに気をつけて関わればいいのか(全身疾患や全身管理、社会保険制度など)

お口を開けてくれない方、抵抗がある方などにどのように口腔ケアすればいいのか

口腔ケアをする時には何を使用すればいいのか

勉強はしたいけれどなかなか子供に手がかかり遠くまで研修に行けない

診療所勤務の歯科衛生士が身近で参加出来る 口腔ケア研修を宇摩歯科医師会で実施

【講義・相互実習】

平日昼コース、平日夜間コース、土曜コース

・計6回実施

【施設訪問実習】

一人2カ所の施設で実習

・計14回実施

【在宅訪問実習】

3カ所の在宅訪問

・計15回実施

・20カ所の歯科診療所歯科衛生士が参加

診療所勤務歯科衛生士の訪問口腔ケア研修

回数	内 容	
第1回 講義	・地域の現状について ・かかりつけ歯科衛生士の役割 ・口腔ケアの目的	
第2回 講義 実習	・口腔の問題点 ・口腔の観察ポイント（アセスメントの仕方） ・実際の口腔ケアの方法（症状・状態別の口腔ケア） ・口腔ケア用品の選び方、使い方(相互実習) ・口腔機能維持向上のための口腔機能ケア&口腔リハビリの方法	
第3回～ 第5回 現場実習	・施設訪問実習2ヵ所 ・在宅訪問実習3ヵ所	訪問での注意事項 多職種連携について

初めての施設実習



2019.6.15



実際に患者さんに
実施してみると難し
いことが分かった



患者さんとのコミュニケーションの取り方、 口腔ケア用品の使い方などが良く分かった



2019.7.6



訪問口腔ケア同行指導

【N歯科医院歯科衛生士】



食事が楽しみ

在 宅



会話が増えたと
ご家族に喜ばれる

施 設

研修後訪問に関わっている 歯科衛生士(同行指導)

在宅

開口困難な
患者さん



病院

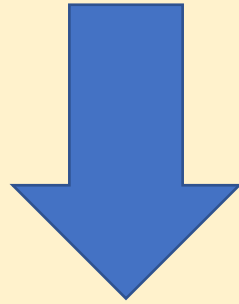
乾燥・汚染の著明
な患者さん



F 歯科医院歯科衛生士

T 歯科医院歯科衛生士

研修後かかりつけ歯科医院の 歯科衛生士による訪問口腔ケアの増加



研修後も訪問に同行し個別指導を行う

- 多職種と連携を図りながら全身状態に合わせた効率的なケアを提供する
- 口の中だけに目をやらず、相手が何を求めているか、何が必要かを常に考えながら動く

地域で関わる

歯科診療所に勤務している歯科衛生士は訪問に関して関心、興味はあるがどう対応していいかわからない、怖いというイメージを持っていた。受講後の感想では在宅訪問のイメージができた、相談できる歯科衛生士ができた、関心が持てたなどが挙げられた。

在宅医療の研修会では歯科の関わりを求めている。現在拡大するニーズへの対応が十分ではなく歯科衛生士の人材確保に向け連携室が中心となり今後さらに研修会を続け、地域全体で人生の最後まで口から食べる機能を支えることを目標に取り組み住民の要望に応える必要がある。

口腔内環境をいかによくするか

適切な湿潤・保湿が
重要



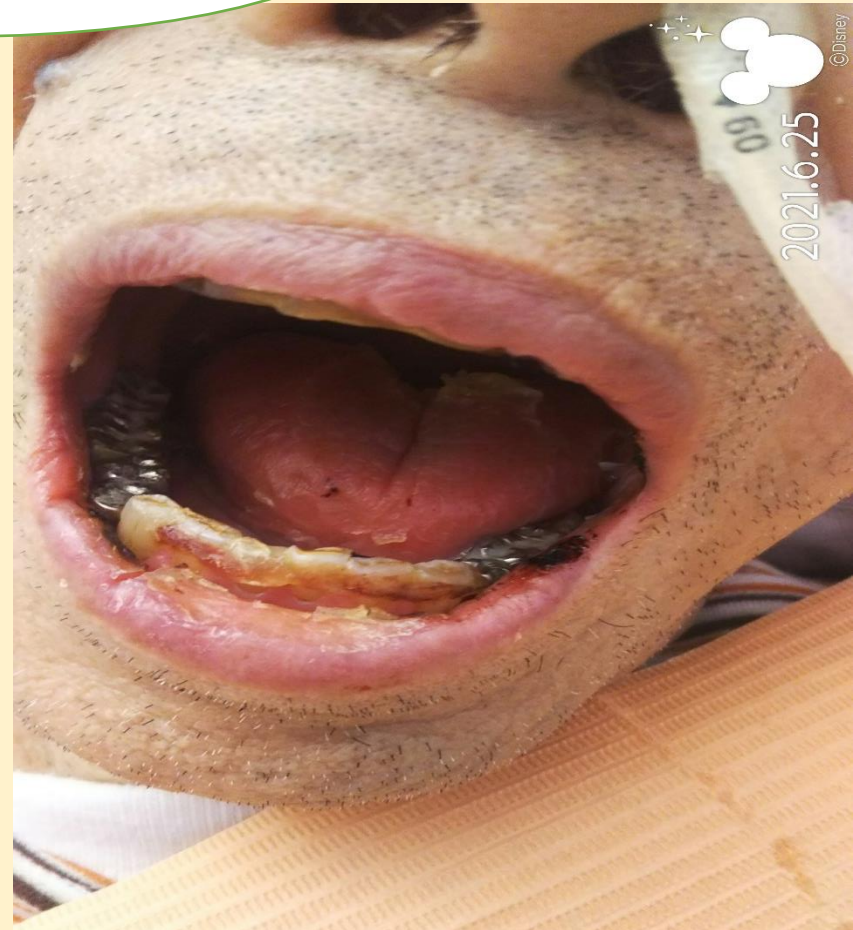
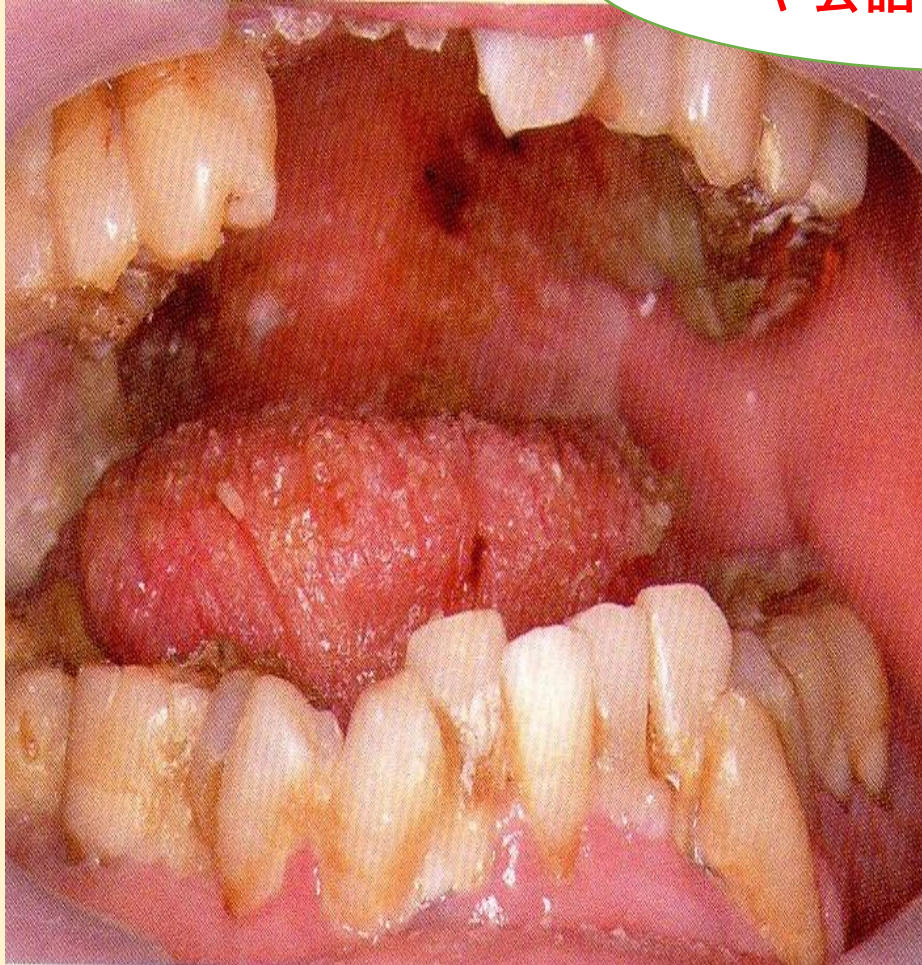
上顎に付着した乾燥痰



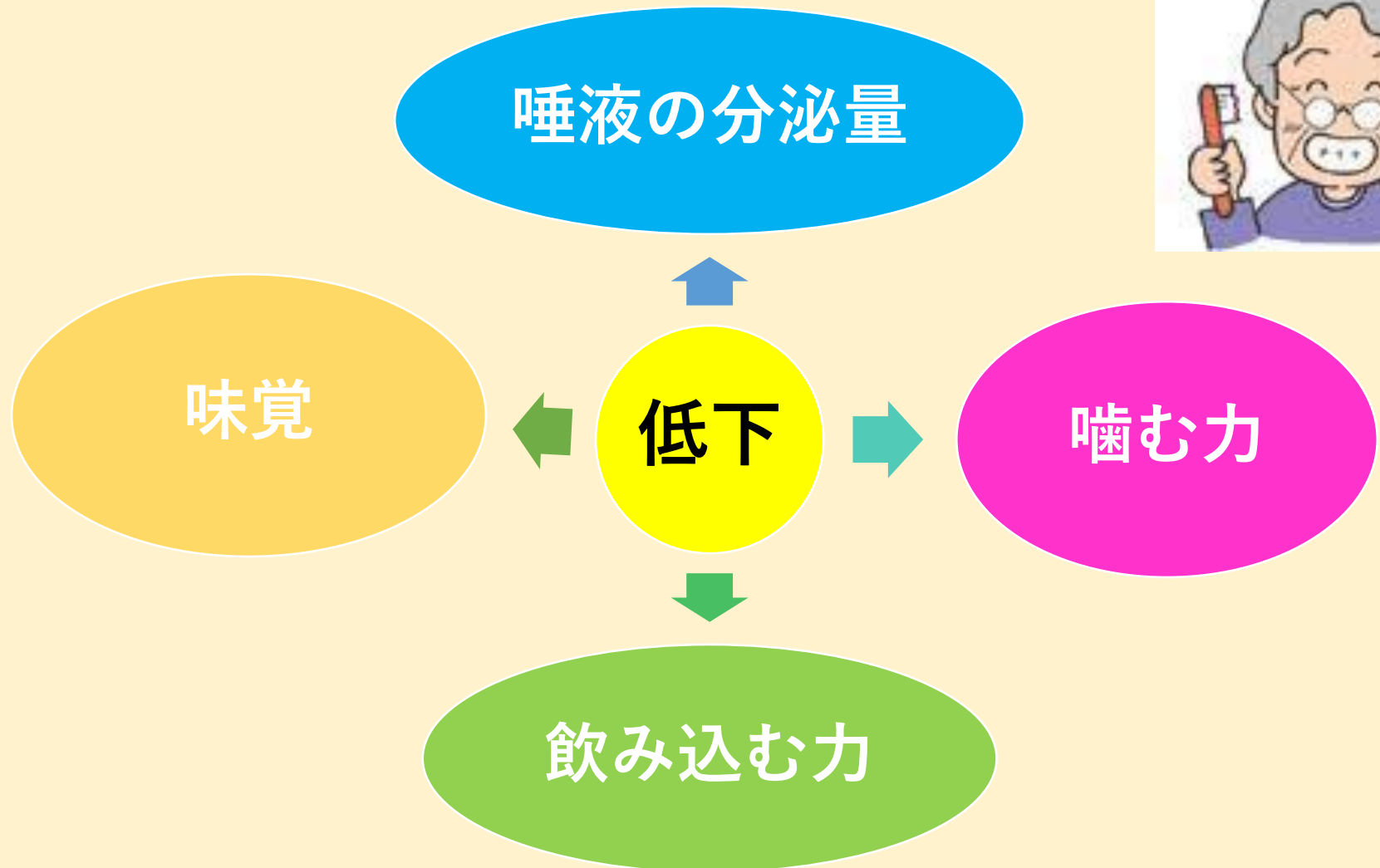
舌苔

口腔乾燥をいかに防ぐか

口腔環境の改善が呼吸
や会話に影響がある



口腔内はどう変化しているか？



口腔ケアの効果

口腔ケアは、口腔を清潔にすることで、細菌量を減らすのみではなく、口腔粘膜を刺激することで**脳血流を増加させ、意識状態および嚥下状態を向上させる。**

口腔ケア = 口腔清掃 + 粘膜刺激

歯科疾患の予防

脳血流増加・活性化

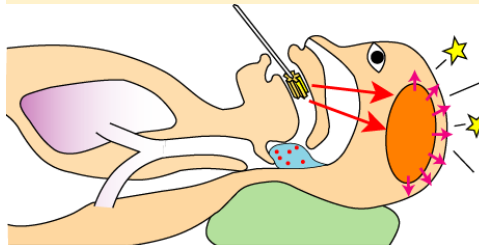
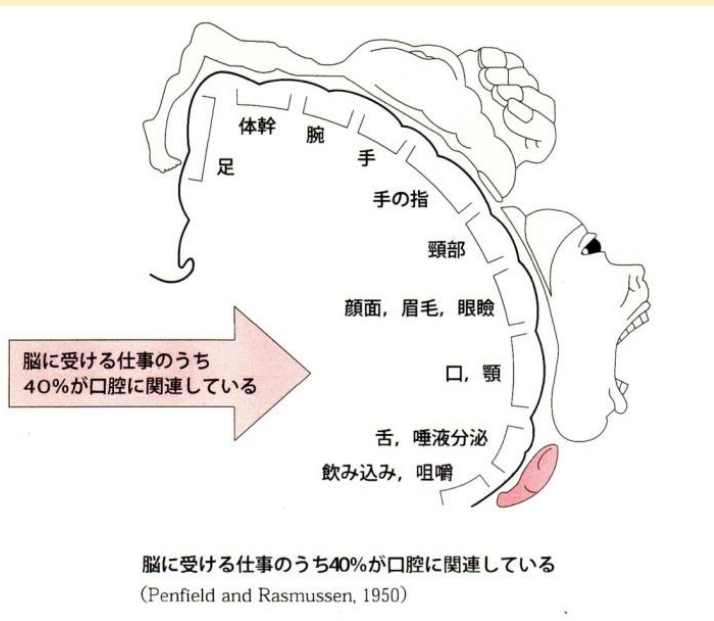
意識状態の回復

嚥下反射起因物質
(P物質)の増加

粘膜刺激にて脳を
活性化・覚醒させる

嚥下の改善
(嚥下困難者の嚥下リハ)

脳の活性化に最も効果があるのは噛むことである。



口腔ケアの基本的な流れ



保湿

口腔・咽頭の吸引

含嗽・洗浄・清拭

残存歯のブラッシング

粘膜清掃

汚染物の除去

湿潤・保湿

口腔・咽頭の吸引

口腔ケア用具の準備

口腔内観察

体位の確保

声掛け・リクゼーション

介護者が使用しやすい口腔ケア用品を提供

地元企業と協力し
て作った
フィンガーウェッティ



口腔ケア用品



全て使用するものは
自分で
体験しておく

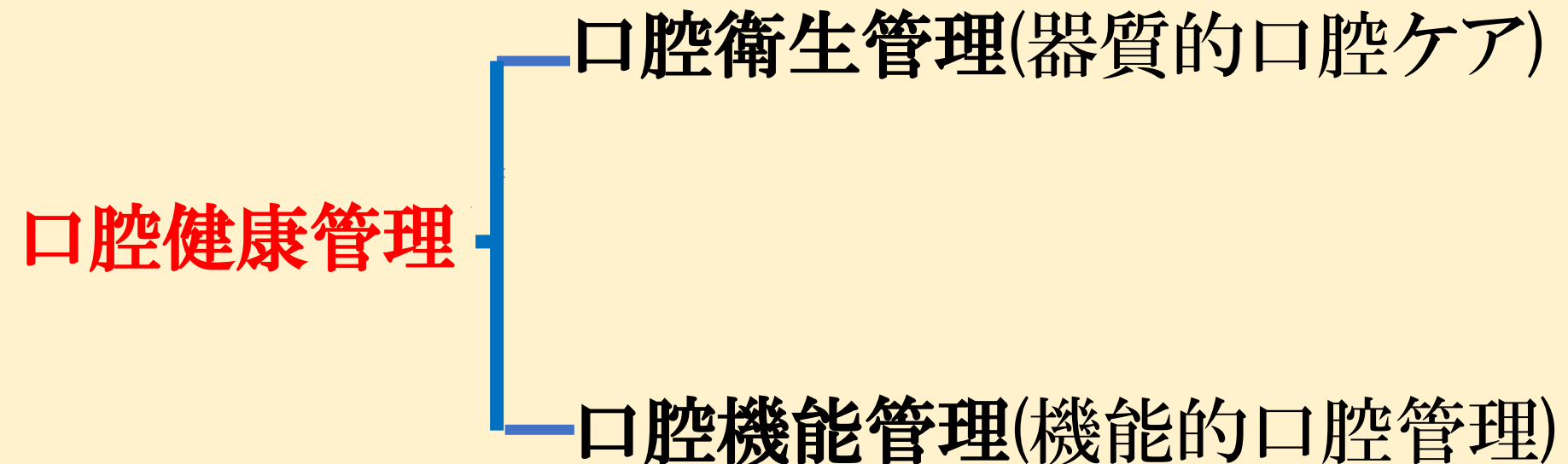
保湿剤は味
や香りも大事



歯科衛生士が提供する口腔ケア

相手に寄り添いながら適切なケアを提供すること。

口腔内の環境を改善し感覚機能を整えることで「きれいな口」、「動く口」、「食べる口」を提供し、全身疾患の維持、改善、ひいては人々の人生や生きることに寄り添うこと。



口腔ケアポイント

- 患者さんが気持ちいいと思える口腔ケアが出来る
- 口腔内に合った適切な口腔ケア用品の使用が出来ている
- 口腔内の刺激、細菌除去、**保湿**が大事

日常的口腔ケアのサポート

- 歯科衛生士の専門的口腔ケアは週に一度しか出来ない
為患者さん自身、ご家族、ヘルパーさん、看護師、介護士
などの協力を得る。
- 実際に誰がどの程度の口腔ケアが出来るのかを見極めて
口腔ケア計画を立てアドバイスを行う。
- 口腔ケアの担い手と連携を図り、口腔ケア介入の目的と
手技の統一を図り、それぞれの口腔ケアの負担を軽減で
きるようにマネジメントしていく。
- 介護者が負担なく続けられるケア用品、ケアの仕方をアド
バイスする。
- 他職種が口腔ケアを実施するに当たり、困っていることが
ないかを確認する。

口腔ケア後の楽しみ

経口摂取出来ない患者には好みのドリンク で味、香りを味わっていただく



口をモグモグさせ
嚥下したり微笑む
ことがある

日本酒

ビール



口腔内が汚染されている

動きが悪い



話せていない
食べられていない

清掃が出来ていないだけでなく機能面を
考慮する 【口腔機能管理】

口腔ケア後の訓練は
楽しく

色んな
拭き戻しに挑戦





百歳の母より
先に死ねないと毎日訓練
して頑張ってるYさん



2020.9.30

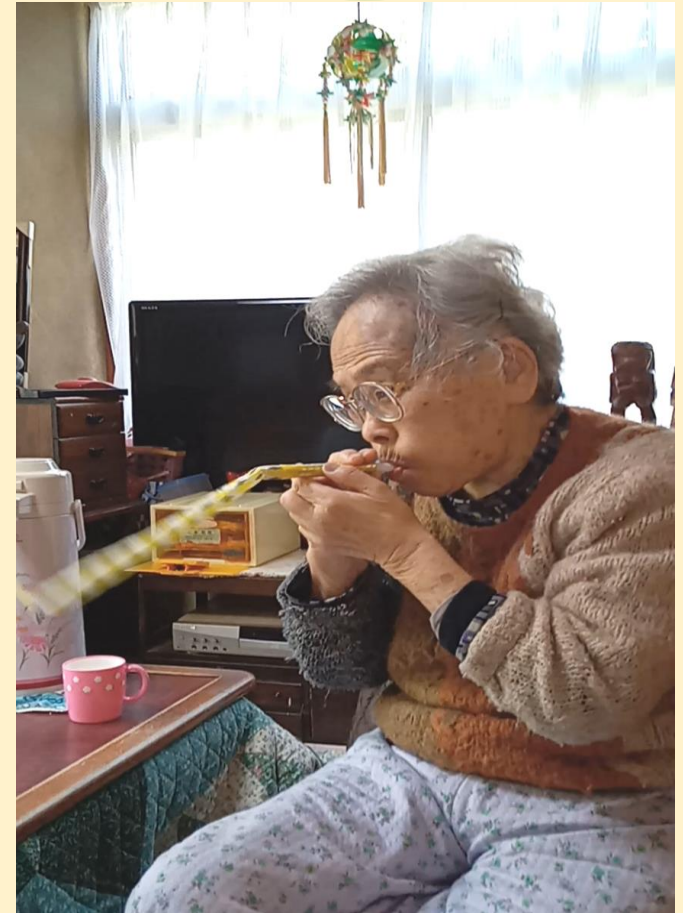


口腔ケア、発声練習後の口腔リハビリ

88歳Mさん



94歳Yさん



歌による口腔リハビリ

『茶摘み』 舌と唇をまんべんなく使う
口唇、舌の挙上、奥舌の盛上り

なつもちかづく はちじゅうはちや

のにもやまにも わかばがしげる

あれにみえるは ちゃつみじゃないか

あかねだすきに すげのかさ

ケア後の発声練習、歌を歌う、お口の体操は日々の状態に応じてアレンジして行う

色んな本の活用



色んな方法で
お口を動かす
ことを意識

患者さんやご家族のゆしみ・生きる意欲に 繋がるような口腔ケアの支援

口腔内がきれいになったで終わってはいけない

きれいにして何をするかを考える

声を出してみる

歌を歌ってみる

口腔リハビリを行う

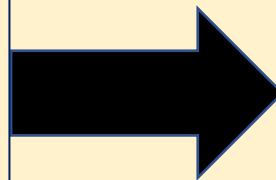
好きなものを味わってみる、食べてみる

患者の心の声を聴く

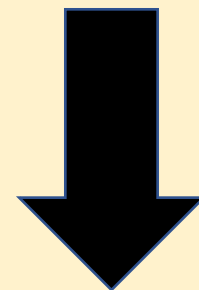


心と身体、すべてにつながる口腔の環境

口腔を清潔に保つ
口腔機能を向上させる



おいしく食べられる
楽しく会話ができる



QOLの向上

患者や家族との関係づくり

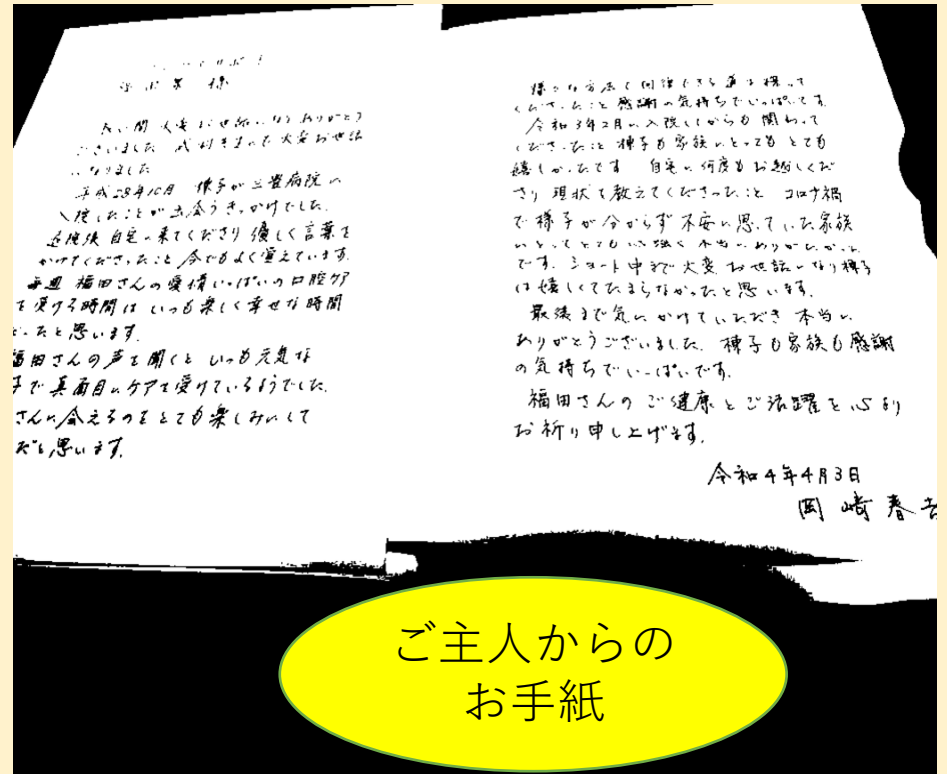
・ 訪問における口腔ケアの時間は 患者・家族が楽しく 笑顔を増やすことを支援

- ・ 患者さんにとって何の話題が嬉しいか
- ・ 今、この患者さんにとって何が楽しみか
- ・ 常に顔の表情、息づかい、手足の動きを確認する
- ・ 歯のことだけにとらわれず患者さんや家族が何を望まれているのかを考える
- ・ 聞き上手になる

コロナ禍介入禁止になっていたがご家族かに最後に会って欲しいと連絡をいただく



最期、『桜』の歌
を歌うと
開眼あり



ご主人からの
お手紙

コロナ禍だから出来た関わり

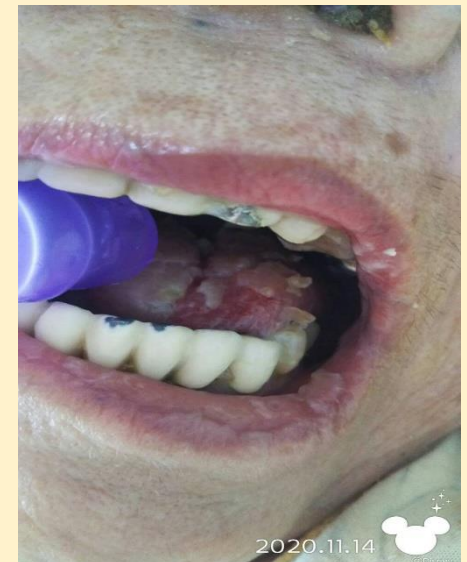
- 対象者: STさん 87歳
- 疾患名: 尿路感染、急性腎盂炎にて入院
- 要介護度: 要介護5
- 家族状況: ご主人 埼玉在住の娘一人
- 介護者: 娘
- 口腔内状態: 残存歯多数で乾燥、口臭著明
- 栄養: 胃ろう
- 職業: 洋裁師
- 気になっていること: 孫たちのこと タイにて勤務、結婚



タイから戻ってきて結婚が決まった孫とお嫁さんに会いたい

孫の結婚式まで元気でいたい

一人娘は遠方であるが話がしたい
自分の頑張りを見て欲しい



面会出来ない、声や顔が見えない不安 ビデオ通話の利用

口腔ケア前

口腔ケア後

娘さんの声を聴いて



最後まで 妻として 母として 祖母として の役割



ばあちゃん、
頑張っているよ



娘さんとの会話
ピアノ演奏が
楽しみに



ご主人の声が
聞けて安心

孫のお嫁さんに挨拶がしたい その為に発語の練習を毎日口腔ケア後に実施



〇〇〇子です。
祖母です。
お願いします。



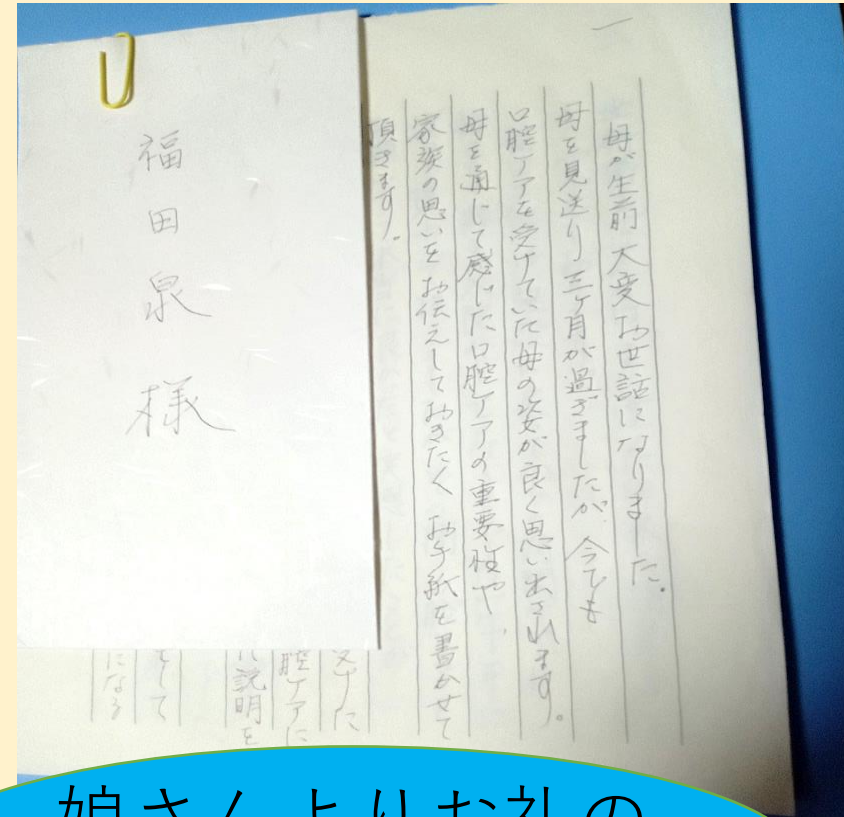
藤井 仁人(Yoshito Fujii)

最後に発した言葉は
孫夫婦に**ありがとう**と

沢山のことを気づかせてくれた Sさん有難う



ご家族より弔辞を
依頼される



娘さんよりお礼の
手紙をいただく



娘さんより

家族が母に会えない状況に止まらず、寝たままで天井を見上げたままの母は**主人や子供、孫**が元気になっているのかときっと**心配していた**と思います。リモートにより家族の状況が聞け安堵し安心したことでしょう。母の精神状態も落ち着くことが出来たと思います。

口腔ケアやリハビリをしていただくことで開眼し、口腔内が清潔になりさっぱりすることで**表情も良くなり発語も出て会話することも出来ました**。

リモートしか出来なかったから母に買ってもらったピアノを家から弾きながら母の好きな歌を聞かせてあげることが出来たことは本当に嬉しかったです。**何もしてあげれなかったと罪悪感を感じなくて済みました**。

母にも孫とお嫁さんに会うという**目標が出来**、看護師さん、リハビリの方、歯科衛生士さんが**目標を共有**して取り組んでくださったお陰で母の頑張る姿が見え感謝しています。母を通して口腔ケアの重要性が良く分かりました。

ただ口の中をきれいにし誤嚥性肺炎の予防をするだけではなく**生活の質の向上にも繋がる**ことが良く分かりました。(一部抜粋)

口への関わりはその方が
納得して天国に旅立つ
お手伝い

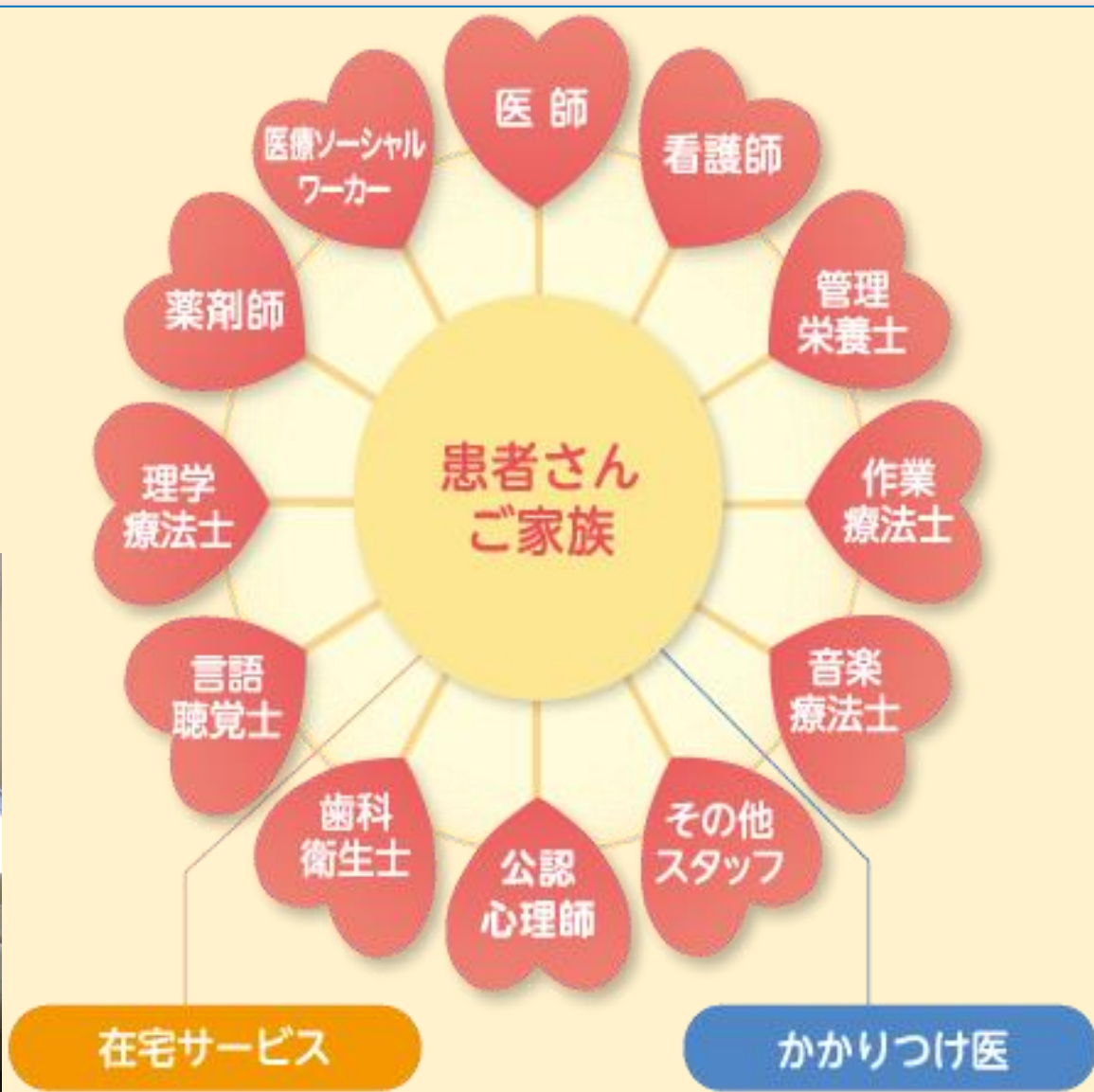
- 目の前の患者の為に歯科衛生士として何が出来るのだろうか
- その為に何の知識が必要で足りないのか知識を深めスキルを高める
- 診療所を飛び出し地域医療の一員として多職種と連携を図ることが必要

要介護者の多様な人生や価値観を 受容できる豊かな心と感性が必要

口腔ケアの技術が上手いだけでいいか?患者・家族に寄り添い
学ぶ姿勢が大事

- 人それぞれのこれまでの歴史がある。
- 要介護者の心のシグナルをキャッチすること。
- いくら高度な技術を提供しても相手に響かなければ効果が望めない。

多職種の方々との連携で効果的な支援を行う



地域ケア会議

地域包括ケアシステム実現に向けた会議

ZOOM
による
参加

デイ職員

薬剤師

理学療法士

作業療法士

ケアマネージャー

管理栄養士

地域包括支
援センター
職員

歯科衛生士

社会福祉
協議会職員

国保医療課
職員



地域ケア会議の目的

①個別ケースの支援内容を検討する

ケアマネージャーが提出した個別の事例に対して他機関・多職種が専門知見から助言などを行うことでよりよい支援、ケアの内容を検討する

②地域の実情に応じて生じる課題を検討する

介護保険サービスなどの公的機関による制度ではないサービスの強化や地域のネットワークづくり、地域に必要な資源の開発などの検討を行う

事例①

Sさん 84歳 女性 土居町

(土居・戸建て)

要支援 2 (R3.5.28~R4.5.31)

障害自立度 A1・認知症自立度 I

152cm
60kg
BMI 25.97

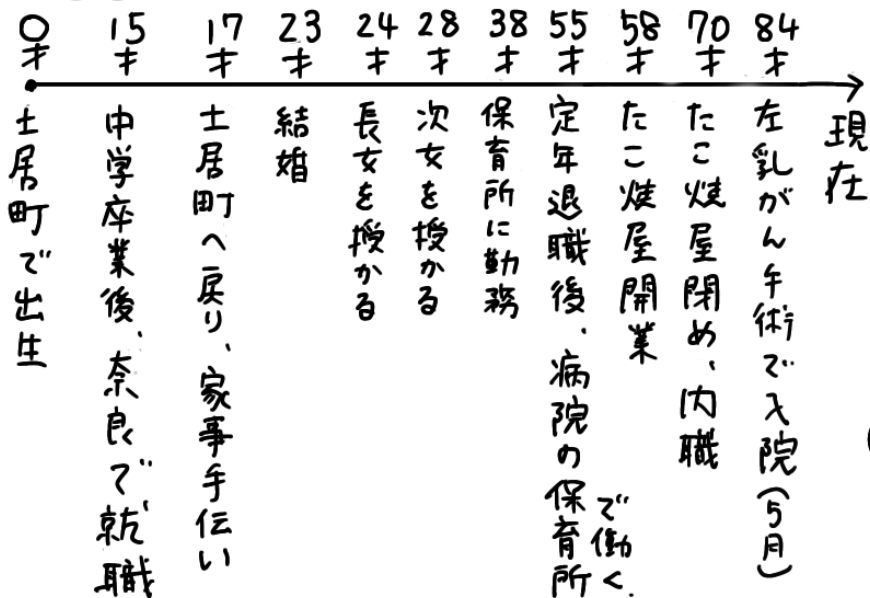
居室・ちかい
CM

通所リハ
くりのみ2

趣味

なし・以前は旅行
好き

人生歴



テーマ

「四国八十八ヶ所の
7回目をまわりたい」



Sさん

生活

- 夫、次女夫婦と4人暮らし(日中は夫と2人)
- 長女は大阪
- 家事…(本人)概ね自立、簡単な調理も可。
(夫)掃除や片づけ
(次女)調理、洗濯

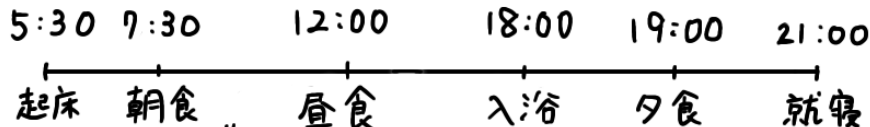
身体

- 左上肢挙上しにくい(ROM90°)
- 左膝に痛みあり、歩行障がいあり。

病歴
健康面

左乳がん(ステージI) R3.5.17に入院手術。子宮がんによる子宮全摘出(H9)

1日の流れ



(※5月の入院より以前は、
日中に内職をしていた。)

その他

- 歯… 自歯31本、義歯なし
- 食事… 好き嫌いなし

事例②

Tさん 80歳 女性 土居町

(燕崎・戸建て)

要支援 1 (R3.7.2~R4.7.31)

障害自立度 A1・認知症自立度 I

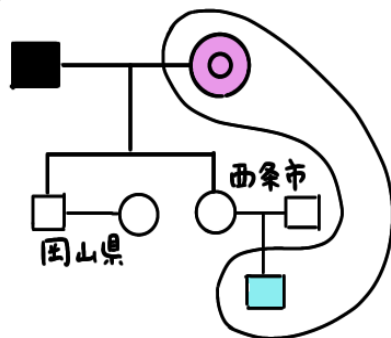
151 cm
67 kg
BMI 29.4

居宅サニライ
CM

トーカー
(歩行器)

趣味

孫とスマホゲーム



人生歴

年齢	出来事
0才	大阪府で出生
16才	中学卒業後、ベレー帽工場に就職
18才	結婚、愛媛に戻る
20才	子どもを2人授かる
65才	退職、夫と孫と3人で暮らす など、仕事をしながら子育て 製紙会社、寿司屋、ほか并
67才	腰椎骨折
75才	体力低下、歩行がしんどくなる
79才	夫が他界、意欲体力低下 (介護申請)
80才	現在

テーマ

一人で歩いて

買い物に行きたい



Tさん

生活

- ・孫と2人暮らし
- ・長男は県外、長女は市外
- ・家事は自分で行える
(同居孫の家事、ゴミ出し、買い物支援あり)

身体

- ・歩行不安定、長距離移動困難
- ・腰、膝の痛みあり、長い時間立ってられない

病歴・健康面

※内科系疾患はなし...

変形性膝関節症・骨粗鬆症

1日の流れ

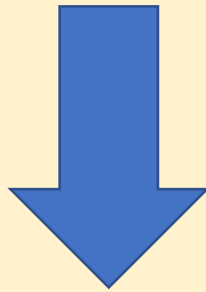
5:00	8:00	13:00	15:00	19:00	23:00
起床	朝食	TV観る スマホゲーム	昼食	散歩 (天気の良い日)	夕食 入浴

その他

- ・歯... 義歯の使用なし。
- ・食事... 1人の時は、ご飯と漬物だけ、といった簡単なものを食べる。間食に少量のお菓子(ポテチ)

地域ケア会議を行うことによって

- 地域住民の安心・安全とQOLの向上
- 自助・互助・共助・公助を組み合わせた地域ケア体制の整備



地域包括ケアシステムの構築



生涯にわたる口腔健康管理は 多職種といかに連携を図るか

- 出来る限りの口から食べる支援
- 地域でいかに健康に暮らせるか
- いかに良い看取りを迎えられるか



今後の課題

- 食べる楽しみ、生きる楽しみに対する支援の充実
- 1人でも多くの歯科衛生士に訪問に関わってもらう為の支援



サポート体制や地域全体での
ネットワーク構築が今後より必要

ご清聴ありがとうございました

